

みなとふ

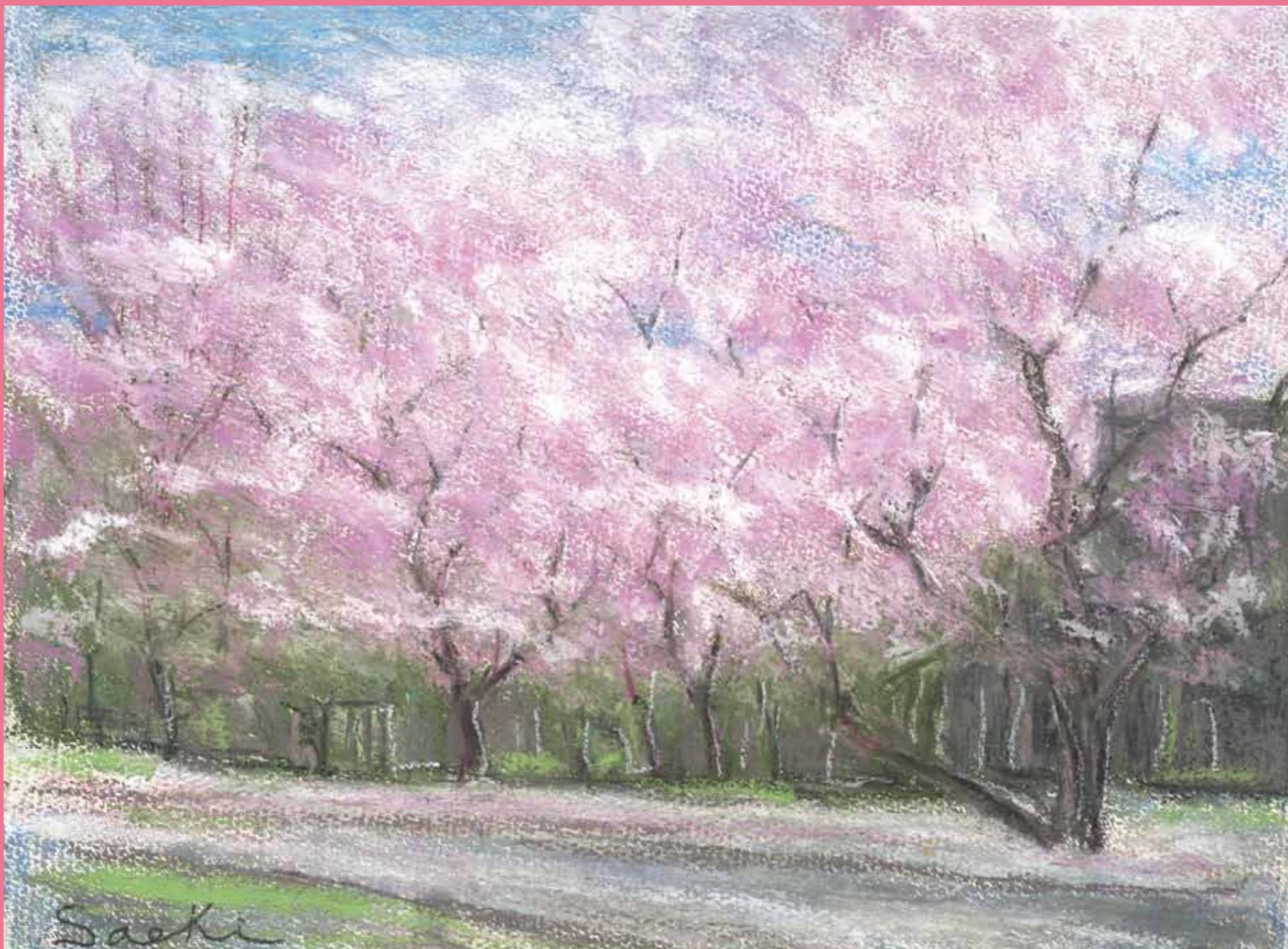
Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2013年3月
Vol.20

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行:高輪地区総合支所
協働推進課



CONTENTS

② 地区内大学生防災
ボランティア養成講座
わたしだって地域の一員!

③ この街にこの人あり
テンプル大学ジャパンキャンパス学長
ブルース・ストロナクさん



④ ⑤ 地域のあしあと
高輪地区の埋蔵文化財めぐり

⑥ 暮らしプレイバック

⑦ 私の自慢・地域の自慢

⑧ 区からのおしらせ

表紙絵

「猿町公園の桜」(白金台2丁目)

佐伯庄吾さん(86歳・高輪在住)

女性がいきいき暮らせる街に

高輪地区は女性が多い街だということを知っていましたか?

平成24年8月の高輪地区の男女別人口を見ると女性が男性より約22%も多くなっています(東京都では女性が約2%多い(平成24年1月現在))。

なぜ、高輪地区は、女性が多いのでしょうか。利便性や安全性などさまざまな街の魅力を感じているからでしょうか。そんな女性たちが、これからも住み続けられる高輪地区にするためには、どのような街にすればよいのか。例えば、街の夜間の照明の確保や地域のパトロールなど街の安全面のさらなる強化、さまざまな立場の女性が参加しやすい音楽・美術イベントの企画、生涯学習の充実などの施策があったらいいのではないのでしょうか。これは、女性にとってもだけでなく、すべての人にとっての住みやすさにも繋がります。

年齢別に見ると、高輪地区では、生産年齢(15~64歳)で女性が約20%多く、特に35~44歳では女性が約26%も多くなっています(東京都では逆に男性が約6%多い)。平成20年10月の「男女平等に関する港区在住・在勤者の意識・実態調査報告書」によると、「女性が仕事をもちつうえでの妨げ」は、「子育てと仕事の両立が難しい」が最も多く、「働きやすい環境を作るために重要なこと」は、「子育て・介護などの両立支援制度を充実する」が最も多くなっています。男女がともに希望に応じた働き方を選択できるように、子育て、介護などへの支援策を充実させることも重要ではないでしょうか。

さらに、高輪地区の65歳以上の高齢者は、なんと女性が男性より約49%も多くなっています。高齢者になっても、地域活動やボランティア活動など積極的に活躍している女性を多く見かけます。そんな方々を支援する施策も大切です。また、高齢者の中には、ひとり暮らしの方も多いかもれません。高齢者のひとり暮らしは何かと不安なことも多いかと思えます。やはり、街の安全性の確保や高齢者のための相談窓口の充実、友人や近隣同士の日常的な見守りが大切ですね。

高輪地区は、女性がいつまでも快適にいきいき暮らせる街であってほしいです。いきいきと魅力ある女性が活躍している街、男性も楽しくなります。

(担当/安藤)

地域の防災ボランティアに、若い力を結集

地区内大学生防災ボランティア養成講座

いつ襲ってくるかもしれない大災害に備えて、防災力アップを目標に、高輪地区では高輪地区総合支所の地域事業として「地区内大学生防災ボランティア養成講座」を昨年6月から実施しました。これは地区内にある北里大学・東海大学・明治学院大学と高輪地区総合支所が連携し、3大学の大学生を対象に行っています。受講生は、災害時のボランティアに必要な基礎知識や実践的内容等を約1年にわたって習得し、災害時ボランティア活動の核となって活動できることをめざしています。講座は23名の参加で第1回がスタートし、各大学の教授や防災専門家が講師をつとめています。今年2月に全講座が修了し、晴れて養成講座受講生の“地域支援チーム”第1期生が誕生しました。



応急救護訓練に汗を流す



開講式



ワークショップでは活発に意見を交換



(担当 / 谷知・菅野・河村)

「災害」を身近な問題として考え、実践的に学ぶ

この講座では、「首都圏での震災対策」「港区・高輪地区の防災対策」「大学による専門分野講習」等の基礎的な学習と、「資器材操作法訓練」「普通救命講習」等の実践的訓練を行って、防災全般の知識が幅広く習得できるようになっています。

11月に行われた講座をのぞいてみると、その日のテーマは「避難所生活とその運営について」。過去の災害の実体験をもとにした講師の解説と、そのあとはグループに分かれてのワークショップ。討論の合間には笑い声も起こり、和気あいあいとした雰囲気の中にも緊張感が溢れ、全員が災害を身近な問題として取り組んでいることがうかがわれました。講師は最後に「ボランティア活動は頑張りすぎないこと。ボランティア自身、心身共に健康であることがまず大切」との言葉で締めくくりました。

参加した学生からは「実際にボランティア活動に参加して、ここで学んだことが役立っている」「地域との連携に関する知識が増えた」「専門分野について違う大学の先生のお話が聞けるのが嬉しい」など、防災に取り組む頼もしい言葉が聞かれました。

この取組は、引き続き北里大学、東海大学、明治学院大学や地域の協力を得て継続される予定です。高輪地区に今後も続々と誕生する若い防災パワー。災害時の活躍が大いに期待されます。

わたしだって地域の一員!

レイチエルちゃん (トイ・プードル/メス/3歳)

私はとってもおしゃれなの。頂いたり、お母さんが買ってくれたお洋服が10着以上あるわ。寒い時はフード付きのジャケット、暖かくなってきたら可愛いワンピース。ハイテクな夏のTシャツは、水に濡らしてから着ると涼しくて、暑い時は重宝ね。

お父さんやお母さんがお出かけの支度を始めると、ちゃんと自分でお留守番をする場所に行くの。朝は、お父さんに「おはよう!」の挨拶をするし、お出迎えも出来るので、お利口と褒められるわ。

ただ、ご飯をあんまり食べないので、お父さんとお母さんを心配させてるの。お父さんが、少しずつ手で食べさせてくれるから、なんとか食べるけど……。

私、おもちゃで遊んでもらうのが大好き。お父さんやお母さんが簡単には届かない所におもちゃを隠して、取ってきてもらうの。

飼い主 西廣さん (高輪在住)



レオくん (アメリカンショートヘア・ミックス/オス/14歳)

ボク、年だけど結構元気、階段だって一気に登るよ。若い時は、屋上でスズメやセミを捕まえるのが得意、そしてそれを居間に持って行って、家族に披露するのさ。家族はいやがったけどね。

ボク、家族の中でお父さんが一番好きなんだ。どうやら、お父さんは前世が猫だったみたい。猫の気持ちがよくわかるんだ。お父さんと一緒に毎日、散歩するのが楽しみさ。ボクは猫だからね、きちんと一緒に歩いたりしないよ。途中で隠れたり、近道したりする。でも最後は必ずお父さんを追い抜いて、一緒に玄関に戻るんだよ。お父さんが散歩に行かないときは、「ニャオーン〜、行こうよ〜」と催促するよ。

ボクの好物は、マグロの刺身。アジやカツオじゃ不満さ。でも高いからって、あまりでないんだ。あー、お腹いっぱい、マグロの刺身が食べたいよ!

飼い主 M. Aさん (高輪在住)



<募集しています!>

ペット紹介のほか、おすすめ料理 (6ページ掲載) も募集しています。あなたの自慢のペット、自慢の料理を紹介してみませんか?

①記事、②写真 (プリントL判またはCD-R)、③氏名、④住所、⑤電話番号、⑥FAX番号、⑦メールアドレスを書いて下記あて先に送付してください。

※掲載をお約束するものではありません。 ※応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

【あて先/問い合わせ先】高輪地区総合支所協働推進課「地域情報紙 募集担当」 〒108-8581 港区高輪1-16-25 ☎03-5421-7123

(担当 / 森・滝川・安藤)



「活かそう、地域の商店街!」は、今号は休載します。

この街にこの人あり

テンプル大学ジャパンキャンパス学長 ブルース・ストロナクさん

「学ぶ」ということは、大学の中だけでなく生涯かけて行うことですよ

初めて来日して何年になりますか

今から37年前（1976年）26歳の時、慶應義塾大学新聞研究所の客員研究員として日本に来ました。日本に来て最初に泊まった場所が高輪のホテルだったので、高輪の街のことを生涯の思い出としてとてもよく覚えています。お寺が多く、歴史のある街だと思いました。

テンプル大学はなぜジャパンキャンパスを開校したのですか

ちょうど30年前になりますが、その頃の日本は経済の成長が著しく、世界の注目をあびていました。そのため、テンプル大学の国際化戦略、アジアの拠点として、日本に設立するのが最適だと考えました。同じ頃、日本でデイズニールランドや国連大学ができました。テンプル大学ジャパンキャンパス（以下「TUJ」とする）は、日本で最初にできた外国の大学で、最後に残っている外国の大学でもあります。

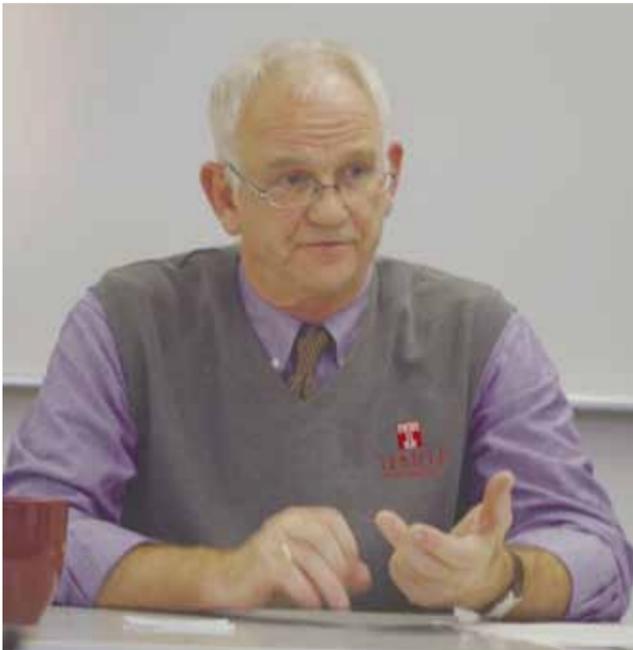
アメリカの大学教育と日本の大学教育との違いは

アメリカの大学では、社会人を経験してから入学する学生が多くいます。また、履修する単位が取れた時点で卒業しますから、入学時期が同じ人でも卒業時期が違うということもよくあります。いろいろな年齢の学生が同時に学んでいるのが、日本とは異なります。

アメリカの大学では毎年約15%の学生が退学しますが、日本では退学する学生はほとんどいません（留年はあります）。アメリカでは、大学生活は大人になる為の自分の人生を考え、自己を確立する時期だと考えられています。進むべき方向が間違ったと思った時点で、別の進路や自分の可能性を探り、方向を修正することができるので、退学することも自然なことなのです。その代わり、そのことについて自分で責任をとる、自己責任ということがアメリカ人の一般的な考え方になっています。

アメリカは競争社会だというのは、よく

知られていると思いますが、大学教育でさえ例外ではありません。学生が集まらなかつたり教育の水準が低かつたりすれば、大学はどんどん淘汰されます。特に私立大学には、日本のように国から補助がないので、魅力ある学校であり続けるための努力が常に必要です。一つの例として、教授といえども実績がなかつたり、学生から支持されないとは解任されることがあります。また、教授は博士号を持っていることが条件になるなど、教員の資格によるレベル分けがはっきりしています。



アメリカと日本のテンプル大学の違いは

アメリカのテンプル大学は、ペンシルベニア州フィラデルフィアにある州立大学で、学生数が約4万人というマンモスキャンパス、一方、TUJは東京にあり、学生数約2千人という違いはありますが、一つの同じ大学です。日本でも本校と同じカリキュラムの勉強ができ、卒業証書は本校から発行されます。日本にいなからアメリカの大学に留学しているのと同じです。

大学学部課程の他に、世界的に定評のあ

るMBAプログラム、ロースクール、教育英語教授法の修士・博士課程の大学院があります。

日本の私立大学とTUJを比較するとどうですか

日本政府から補助金がでないので、その分TUJの授業料は日本の一般的な私立大学より少し高くなります。

TUJでは日本人と外国人の割合はどの位ですか

日本人が4割、アメリカ人が4割、その他の国々が2割です。学生同士の交流でも、言語や異文化を学ぶことができます。

学生たちの就職先はどんなところですか

TUJの就職率は昨年度92%でした。バイリンガルで異文化を理解する能力を買われています。日本の大企業に就職した学生も多く、外国の企業に就職する学生もいます。

アメリカのテンプル大学は地域とどのような関わりがありますか

アメリカのテンプル大学は、もともと幅広く一般市民に学問研究の門戸を広げるため、地域住民に密着した教会を利用して開校したのが始まりです。アメリカの大学は教育と同時に地域貢献をすることが大事な役割となっています。大学が地域に開かれていて、地域の住民に学ぶ機会を提供しています。

TUJはどのような地域貢献をしていますか

TUJでは、地域社会や学術研究の発展のために、港区と「連携協力に関する基本協定書（2006年）」を結び、次のような活動を行っています。

小・中学校の異文化体験授業にアシスタ

ントを派遣、日本語適応指導員として、小・中学校に学生を派遣、港区の小・中学校生徒に夏休み3日間「日本でできる国内留学プログラム」の実施、英語による「区民大学」を開催、TUJ図書館の蔵書を、港区立図書館を通して借りることができるなどのプログラムなどです。

また、三田校舎ではTUJ現代アジア研究所が月1、2回公開レクチャー・セミナー・シンポジウムを開催しており、地域の方も受講できます。その他、地域のお祭りと一緒に神輿を担いだり、学生野球チームが地域のチームと試合をしたりしています。

アメリカの街と比較して、東京あるいは港区の街についての感想はいかがですか

日本の街は安全、安心で住みやすいです。私にとって、日本は第2のふるさとのような気持です。37年前日本に初めてきた時は、慶應義塾大学ですら冷暖房もなく、街もごちゃごちゃして汚かったです。ひどいところに来てしまったと思いました。あれから、日本も随分変わりました。丸の内周辺、港区、特に品川駅周辺は素晴らしくなりました。アメリカの都市に負けません。

私は、新潟県南魚沼郡に8年間住んでいましたが、歴史もあり、自然も豊かでとても魅力的でした。日本の地方の生活もよいですね。

若い人や学生にメッセージがあれば教えてください

学問や勉強というのは、大学の中だけでするものではありません。生涯かけていろいろな場所やいろいろな時に学ぶものです。学ぶ気持が大切で、いつか花開く時がきます。

もう一つ、自己責任ということです。自分ですることは、自分が責任を持つこと、これが人生を渡っていく時、一番大事なことだと思います。

ブルース・ストロナク

1950年8月24日生まれ。米国メイン州出身。タフツ大学フレッチャー大学院・ハーバード大学院国際関係学博士、タフツ大学フレッチャー大学院・ハーバード大学院法律外交修士・文学修士。

慶應義塾大学新聞研究所（現メディア・コミュニケーション研究所）客員研究員、慶應義塾大学国際センター講師、財団法人国際教育振興会 国際政治経済研究科研究科長、ニューイングランド・ジャパン・セミナー会長、メリマック大学（米国マサチューセッツ州）助教授（政治学）、国際大学国際関係学研究科 研究科長兼教授、ベッカーカレッジ（米国マサチューセッツ州）学長代行、公立大学法人横浜市立大学学長などの職を経て2008年よりテンプル大学ジャパンキャンパス学長に就任。

著書として、「東と西の支配：日本とイギリスの政治文化の比較」、「日本とアメリカの大衆文化」（共著）などがある。

（担当／安藤・森・滝川・河村）

◆インタビューを終えて
TUJは三田校舎と麻布校舎があります。著書も多く、各方面で重要な役職を歴任なさっている学長さんということで、ちょっとかたい方を想像していましたが、驚くほどさくさくな方で楽しいインタビューができました。日本語はかなりお上手で、また話し好きな方で、2時間近くもユーモアを交えた貴重なお話を聞くことができました。

地域のあしあと

高輪地区の埋蔵文化財めぐり

今号では、主に高輪地区の埋蔵文化財を取り上げました。掲載地図を見ると、高輪地区は海に近く、太古の昔から人が住み着いていたことがわかります。現在、私たちが生活している場所の下に何千年も前からの人々の営みが残っているということは、実に感動的なことです。いつの日か、私たちの住むまちが遺跡になることもあるかと思うと、気が遠くなりそうです。人類の長い歴史の証しを、次の世代に正しく伝えたいものです。

「港区埋蔵文化財包蔵地(遺跡)分布図(平成24年3月31日現在)」
(港区教育委員会発行)より作成

遺跡一覧

遺跡番号	遺跡名称	時代	種別	所在地
55	済海寺 越後長岡藩主牧野家墓所	江戸	墓所跡	三田4丁目
56	亀塚公園	弥生	集落跡	三田4丁目
57	亀塚	歴史◆	塚	三田4丁目
58	正泉寺跡	江戸	社寺跡	三田4丁目
59	宗清寺跡	江戸	社寺跡	三田4丁目
60	伊皿子貝塚	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・江戸	貝塚・集落跡・社寺跡	三田4丁目
61		古墳	古墳	三田4丁目
63	長応寺跡	江戸	社寺跡	高輪2丁目
64		縄文	包蔵地	高輪3丁目
65		縄文	包蔵地	白金6丁目
66		江戸	武家屋敷跡	白金5丁目
67	旧白金御料地	中世	城館跡	白金5丁目
68		縄文	包蔵地	白金5丁目
69	旧白金御料地内武家屋敷跡	旧石器・江戸	包蔵地・武家屋敷跡	白金5丁目
70		縄文	貝塚	白金台1丁目
71		古墳	横穴	白金台2丁目
75	三田台町	縄文・弥生・古墳・平安	包蔵地・集落跡	三田4丁目
76	三田台町町屋跡	江戸	町屋跡	三田4丁目
10	三田台町・三田台裏町・芝伊皿子台町町屋跡	江戸	町屋跡・社寺跡	三田4丁目
104		江戸	武家屋敷跡	白金4丁目
11		江戸	町屋跡	白金台4丁目
119		江戸	護岸石垣	高輪2丁目
120	證誠寺跡	古墳・江戸	集落跡・社寺跡	高輪2丁目
123		古墳	集落跡	高輪2丁目
125	旗本田中家屋敷跡	江戸	武家屋敷跡	三田5丁目
128		江戸	護岸石垣	高輪2丁目
131	朗徳寺跡	江戸	社寺跡	高輪3丁目
135		江戸	武家屋敷跡	白金台4丁目
136	仏乗院跡	江戸	社寺跡	三田4丁目
138	朗徳寺跡第2	江戸	社寺跡	高輪3丁目
142	上行寺跡・上行寺門前町屋跡	江戸	社寺跡・町屋跡	高輪1丁目
145	承教寺跡・承教寺門前町屋跡	奈良・平安・江戸	集落跡・社寺跡・町屋跡	高輪2丁目
145-2	承教寺跡・承教寺門前町屋跡第2	江戸	社寺跡・町屋跡	高輪2丁目
155	功運寺跡	江戸	社寺跡	三田4丁目
157	肥後熊本藩細川家屋敷跡	江戸	大名屋敷跡	高輪1丁目
158	上野沼田藩土岐家屋敷跡第2	江戸	大名屋敷跡	三田4丁目
159	妙玄院跡・妙玄院門前町屋跡	旧石器・縄文・弥生・古墳・中世・江戸	包蔵地・集落跡・社寺跡	高輪3丁目
160	国昌寺跡	江戸	社寺跡	高輪2丁目
167	芝伊皿子地区武家屋敷跡	江戸	武家屋敷跡	三田4丁目

※「港区埋蔵文化財包蔵地(遺跡)分布図」をもとに作成しているため、番号は分布図とあわせています。

「埋蔵文化財」:土中などに人目に触れにくい状態で埋蔵されている文化遺産。

「遺跡」から発見され、「遺物」と「遺構」が含まれます。

「遺跡」:集落跡、貝塚、屋敷跡、墓跡、遺物包蔵地など

「遺物」:土器、石器、陶磁器、瓦など

「遺構」:住居跡、古墳、土坑など

「貝塚」:貝がらや魚の骨、土器など、さまざまなゴミが捨てられた場所で、当時の生活を知らることができます。

時代について

- 旧石器時代 約35,000年前～約12,000年前(現在のところ、港区では約30,000年前の資料が最古)
- 縄文時代 約13,000年前～約2,800年前(現在のところ、港区では約9,500年前の資料が最古)
- 弥生時代 前10世紀～後3世紀(港区では、前1世紀から紀元前後頃に弥生文化到来)
- 古墳時代 後3世紀～7世紀(港区内で古墳の築造が始まるのは4世紀末(または5世紀初))
- 奈良時代 710年～794年
- 平安時代 794年～1192年
- 中世 鎌倉時代、室町時代を中心とする12世紀の終わり頃から16世紀後半
- 江戸時代 1603年～1867年

◆ 亀塚は築造年代がわかっていません。弥生時代より古くなる可能性はないものの、下限が確かめられていませんので、「歴史時代」(古墳時代～江戸時代)の遺跡としています。



凡例

	範囲未確認遺跡	範囲が確認されていないもので、主に原始・古代から中世までの遺跡。
	範囲確認遺跡	現時点で範囲が確認されている遺跡で、近世の遺跡を含む。
	古墳	—
	横穴墓	—
	国指定の史跡等	—
	江戸時代の屋敷や社寺地等の推定範囲	—
	江戸時代の海の範囲	—

参考文献

- ・『港区文化財のしおり』(港区教育委員会)
- ・『港区の先史時代 I 伊皿子貝塚と港区の貝塚』(港区教育委員会)
- ・『日本史年表』歴史学研究会編(岩波書店)
- ・『角川 日本史辞典』高柳光寿 竹内理三編(角川書店)
- ・『江戸のなりたち(1) 江戸城・大名屋敷』追川吉生(新泉社)
- ・『港区埋蔵文化財包蔵地(遺跡)分布図』(港区教育委員会)
- ・『港区文化財めぐり』(港区教育委員会)

かつて高輪地区にあった建造物で、現在、「江戸東京たてもの園」に移築されたもの

★1 伊達家の門【旧武蔵野郷土館収集】

旧宇和島藩伊達家が、大正時代に東京に建てた屋敷の表門です。<起り屋根>の片番所を付けるなど、大名屋敷の門を再現したような形をしています。総樺造りで、門柱の上に架けられた冠木には、宇和島藩伊達家の木彫の家紋が施されています。【白金2-4】



★2 大和屋本店(乾物屋)

白金台に昭和3年(1928)に建てられた木造3階建ての商店です。3階の軒下を伝統的な<出桁造り>にする一方、間口に対して背が非常に高く、看板建築のようなプロポーションを持ったユニークな建物です。戦前の乾物屋の様子を再現しています。【白金台4-8】



★3 小寺醤油店

建物は昭和8年(1933)に建てられ、<出桁造り>とあって、庇の下の腕木とその上の桁が特徴です。現在の白金で大正期から営業しており、味噌や醤油、酒類を売っていました。【白金5-15】



(担当 / 伊関・吉田・明石)

遺跡等

57 亀塚(都指定史跡) 三田4-16

古墳時代以後につくられた人工の塚で、その形から亀塚と呼ばれました。塚の下からは弥生時代の土器が出土し、周辺の地域からは、古代の住居跡なども発掘されています。現在は、亀塚公園として残されています。桜の名所でもあります。



亀塚公園

60 伊皿子貝塚遺跡 三田4-19

この遺跡は、縄文時代から平安時代にかけての遺構や遺物が発見されたことから、貝塚を含めて「伊皿子貝塚遺跡」と呼びます。遺跡からは江戸時代の犬猫の供養墓、平安時代・古墳時代の竪穴住居跡などが、順番に重なり合って発見されました。伊皿子貝塚からは豊富な貝類(約80種類)が確認されました。また、獣骨や土器・石器が少ないことが特徴です。現在は三田台公園(三田4-17)に、伊皿子貝塚遺跡の発掘調査で発見された縄文時代後期の竪穴住居を復元し、当時の生活の一部を再現しています。また、港郷土資料館には、貝層断面が保存、展示されています。



三田台公園 写真提供:磯邊 見さん



港郷土資料館

その他の史跡・旧跡

A 高縄(輪)原古戦場跡 高輪3丁目あたり

港区登録文化財(旧跡) 平成7年(1995)3月27日指定

江戸城の歴史は、12世紀に武蔵国江戸郷の丘陵に、関東武士江戸重継が館を構えたのが始まりです。長祿元年(1457)、その跡に扇谷上杉家の家臣太田道灌が、江戸城を築城しました。後に扇谷上杉氏が城主となりますが、小田原を掌握した北条早雲の子、氏綱に攻められ、大永4年(1524)、武蔵高縄原の戦いで敗走。以降江戸城は、北条氏による武蔵、上野(こうづけ)攻略の拠点となりました。このあたりは、江戸時代以前は京都から奥州へ向かう幹線道でした。



B 三田用水路跡 白金台3丁目

三田用水は江戸市街の拡大で増加した水の需要に応じるため、寛文4年(1664)に玉川上水の水を下北沢で分水したもので、白金台・高輪・三田・芝地区に給水していました。享保7年(1722)に廃止されましたが、流域では農業用水としても使われていたことから、2年後、再び水を引くことが許されました。これが三田用水と呼ばれました。ここは玉川上水から分かれた水路が、目黒を通り、高輪台の終点へ抜ける部分で、堤状に水路が残っていました。ほとんど失われてしまった三田用水路の貴重な遺構は、特に断面がわかるように残されています。また、水路の通っていた位置を示すための色違いのタイルを地上に並べて記念としています。



三田用水路跡



三田用水にかかってたという橋の跡

協力:江戸東京たてもの園 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内) TEL:042-388-3300 JR中央線武蔵小金井駅または西武新宿線花小金井駅からバス5分

暮らし フレイバック

お話を伺った人
堀江 英二さん
(高輪在住)

高輪地区の昔の暮らしをたどるコラム。
第3回は、生まれた時から高輪の高松宮邸の
向かい側にお住まいになっている堀江英二さん
(79歳、歯科医)にお話をうかがいました。



二・二六事件が起きた時、高松宮邸前はただならぬ様子でした

私の父(堀江銈一)は東京歯科大学で教えるかたわら、ここで
歯の診療もしていました。日本で初めて本格的な「入れ歯」の治療
を行っていました。この家は、当時の財閥鈴木商店関係者の邸宅
として建てられましたが、昭和恐慌の影響で一度も使われずに鈴
木商店が手放しました。その後、台湾銀行の所有となっていたもの
を1927年(昭和2年)に父が買いました。応接間を診療室として
使っていて、診療室の窓から当時、品川駅や品川の海が見えてい
ました。今はビルが建ち並び海はまったく見えません。その後、
2009年、大正当時の雰囲気窓枠など随所に残しながら、耐震
補強やバリアフリー化などを図り全面的にリフォームしました。

伊皿子から二本榎までのこのあたりは山本権兵衛(海軍大臣、
総理大臣を歴任)宅など1000坪を超えると思われる大邸宅が多
くありました。

私が3歳の時、二・二六事件(1936年)がおき、雪のふりしきる
中、ただならぬ様子で高松宮邸の黒門の前に武器を持った警護隊
が大勢集まっており、白と黒のオートバイが駐まっていたことをか
すかな記憶で覚えています。子どもの頃は、宮邸前の黒門(現在上
野の東京国立博物館内に移転している)に登ったりして遊んでい
ました。その当時、黒門はそのうしろに別の扉と門があって、既に
門としての役割を果たしていなかったようです。大丸ピーコック
(高輪魚籃坂店)横や都営高輪一丁目アパートの横など3カ所に
門があり、警護の人が立っていました。高松宮邸の中に入って遊ぶ

こともありましたが、見つかると守衛にひどく怒られました。当
時、高松宮邸を高輪御所と呼んでいましたね。

■親子三代、歯科医の道へ

戦争中私は岐阜に疎開して、戦後帰って来てみると、宮邸やうち
のあたりは無事でしたが、伊皿子、二本榎の一部や泉岳寺の本堂
などまわりはかなり焼けていました。

戦後すぐの時は、家を失った人が黒門の屋根の下で生活してい
たこともありました。

思い出に残っているのは都電です。高校は、都電を乗りついで
通学していましたが、地下鉄に乗りたくて新橋までいき新橋から
赤坂見附まで銀座線を使ったことがありましたよ。

私も戦後父の跡を継ぎ、歯医者とし
てずっとここで診療しています。最近
は息子や娘も歯科医として手伝って
くれるので、心強いです。

高松宮妃殿下の歯の治療をさせてい
ただいていましたが、晩年には高松宮邸にう
かがって診療することもありました。妃殿
下から大きな菊をいただいたことがあり、
あまりに大きすぎて部屋に飾れないので
玄関に飾ったりしたこともありました。



高松宮妃殿下より贈られた菊

(担当 / 安藤・吉田・渡邊)



●材料(4~5人分)●

・大根	1本
・とり肉ぶつ切り(骨なし)	500g
・生姜	1かけ
・炒め油	大さじ2
・酒	大さじ3
・水	少々
・砂糖	大さじ1.5
・醤油	大さじ4.5~5

読者 渡辺 尚子さん(白金台在住)のおすすめ料理

とり肉と大根の炒め煮

●作り方●

1. 大根の皮をむく。たて4つ割にし、それを大き目の乱切りにする。
生姜はうす切りにし、飾り用に線切りを少し残す。
2. 深めの厚手なべに油を熱し、大根の乱切りを入れ、火が通るまでじっくり炒める。
多少こげ目がつく位でもよい。
3. 2にとり肉と生姜のうす切り、水を入れ、落しふたをして30分~40分煮込む。
4. よく火が通って大根がやわらかくなったら、酒、砂糖、醤油を入れからませる。
5. 器に盛りつけ、生姜の線切りを飾る。

ワンポイント・アドバイス

みずみずしい大根を選びましょう。
大きめに切り、ゆっくりと時間をかけて静かに煮るうちに、大根からも
水分が出てきて、ふっくらと煮上がります。



(担当 / 三村・滝川)

おすすめ料理
募集中!

※応募方法は2ページ参照



あなたのお隣の人がこんなすばらしい活動をしていた、よく知っているあの人には、
こんなすてきなエピソードがあった ——

さまざまな活動や仕事を通じて、私たちに大きなエネルギーを与えてくれる
身近な方々に登場していただくページです。

この人をぜひ紹介したい、という情報をお持ちの方からのご連絡を待っています！

作品を引き立てる名脇役 —江戸表具師—

鈴木 正一さん (白金台在住)



白金台にお住まいの鈴木正一さん (82歳) は、平成24年度港区指定文化財・無形文化財 [工芸技術 江戸表具] 保持者と認定されました。

表具師とは、掛軸や額を作ったり、襖ふすまや屏風を仕立てたりする職人のことです。仏教の伝来とともに日本に伝わり、仏

教と深い関わりがあります。特に昔から寺社の多い京都で発展しました。表具の形式としては、京表具と江戸表具があり、両者の違いは色彩に現れ、江戸表具の方が比較的濃い色を使うようです。

鈴木さんは、表具師二代目。「父の代から表具師を営んでいます。この作業場も1954 (昭和29) 年に建てられたんですよ」と語る鈴木さん。表具師の仕事は何よりも大切にしています。表装した作品は、作品をより一層美しく変身させるだけでなく、たとえば掛軸の場合、端に段を作ると、この段が風通しを良くする役割を果たし40~50年以上保存できるとのこと。作成には幾種類もの刷毛を用い、最後に打刷毛でたたいて整えますが、昔は、その音が近所中に鳴り響いていました。

以前は床の間のある和室の家が多く、鈴木さんが仕事を引き継いだ1960年代には、月に20件から30件の仕事が舞い込み大忙し。顧客は日本画家が多く、さまざまな作品を手がけたとのことでした。近年は、社会状況が大きく変化して和室が減り、飾る掛軸も減ったことから仕事が少なくなり、東京表具経師内装文化協会の会員も最盛期は700人以上いたのが、現在は256人に減ってしまいました。

後世に引き継いで欲しい伝統工芸ですが、残念ながら鈴木さんには後継者がいません。表具師の中には、現在の活躍の場としてクロスの張り替え等の仕事を行う人も多いとか。培った確かな技量は、現代の建築の中でも形を変えて確実に息づいているようでした。



みこし 神輿で結ぶ気仙沼と高輪の絆



フリーマーケットで展示された神輿

プロジェクト」(以下「神輿プロジェクト」)を新たに立ち上げ、あちこち傷んだ神輿の修理費用を集めようと募金活動も行っています。

この神輿は、昭和20年代、渋谷の円山町の町会が街の活性化のために製作したものです。その後、多摩地区で子ども神輿として担がれていましたが、担ぎ手の子どもが減少したことから、墨田区向島の運送会社社長山田守利さんが自社ビルに長年祭っていました。山田さんは、気仙沼の神輿が東日本大震災による津波で流されたという話を聞き、当時、向島警察署副署長(前高輪警察署長)だった本間均さんに「神輿を気仙沼へ贈りたい」という思いを相談しました。その後、高輪警察署に配属された本間さんの計らいで、警察の单身寮や港区立白金小学校に一時保管した後、東海大学高輪キャンパスに移設し本格的に募金活動を開始しました。

「東海大学Takanawa共育プロジェクト」は、「開かれたキャンパスづくり」をめざした意欲ある学生が集った団体で、発足当初から夏の祭りで神輿を担いだり、盆踊りや縁日への参加・サポートをしたり、いろいろな地域

昨年11月24日、高輪地区から気仙沼へ神輿が贈られました。贈ったのは、東海大学高輪キャンパス「東海大学Takanawa共育プロジェクト」の有志のみなさん。森山雄大さん(東海大学4年生)を筆頭に、東海大学の福崎稔先生をアドバイザーとして「気仙沼に贈る神輿募金

活動に参加してきました。今回の神輿の寄贈もその活動の一環として位置づけられています。被災地復興に精力的な活動を行っている「ひこばえの会」(代表: 涌井宏一さん)の支援を受け、昨年11月に東海大学高輪建学祭の会場で、さらに、松ヶ丘会(地域の町会)の支援を受け、フリーマーケットでも神輿を展示し、募金活動を行いました。また、地域商店街のメリーロード高輪が賛同し、寄付を行いました。まさに、学生を中心とする「神輿プロジェクト」の熱意が高輪地区のみなさんを動かしたと言えるでしょう。

現在神輿は、気仙沼「ホテル観洋」に展示され、長い時間をかけて募金活動が行われているところです。神輿は、今年の4月、5月に一旦高輪地区に戻して、地域の桜まつりなどに展示し募金活動も予定されています。さらに、夏の気仙沼のお祭りには、「神輿プロジェクト」のメンバーをはじめ東海大学の学生たちも気仙沼に駆けつけ、神輿を担ぐことになっています。

最後に、ここでご紹介した方々を結んだのは、高輪地区で伝統ある「高輪神輿同好会」の方々とのことでした。まさに、神輿が結ぶ高輪地区と気仙沼の絆です。



左から 松ヶ丘会会長、森山さん、メリーロード高輪会長、福崎先生

タウンミーティング TAKANAWA 2013 メンバー募集!!

高輪地区(三田4・5丁目、高輪、白金、白金台)の魅力や課題解決について、高輪地区総合支所と協働で考え、活動してみませんか。

- 対象** 高輪地区に在住・在勤・在学の人、または高輪地区のために活動したい人
- 内容** タウンミーティングTAKANAWAの全体会の下に分科会を設け、それぞれのテーマに沿って活動していただきます。
- 会議・活動** メンバーと支所職員による平日昼間または夜間の会議及び活動
- 募集人数** 80名程度

★無作為抽出
これまで区政に参加するきっかけの少なかった方にも参加していただく機会を設けるため、住民基本台帳から無作為で選んだ区民の皆さんに地区版計画策定に関する分科会の参加者募集のお知らせを送っています。

設置予定分科会 ※一時保育あり

No	分科会名	任期	募集人数	活動の頻度	第1回全体会議のお知らせ
1	地区版計画策定グループ 平成27年度からの高輪地区版計画書の策定に向け、現状と課題等を議論し、区への提言をまとめます	平成25年3月～平成26年3月	20名程度 (★無作為抽出を含む) ※応募多数の場合は抽選	平日昼間または夜間の会議 (おおむね月1・2回程度)	平成25年4月12日(金) 午後6時30分～ 高輪区民センター1階 集会室
2	地域情報紙グループ 高輪地区の地域情報紙「みなとっぶ」の発行に向け、編集委員が、企画・取材・編集を行います	1年間 (平成25年4月～平成26年3月)	各15名程度 ※応募多数の場合は抽選	平日昼間または夜間の会議 (各号の編集スケジュールによる) 平日・休日昼間または夜間の取材 (各号の編集スケジュールによる)	<内容> 各メンバー自己紹介 活動内容説明 等
3	白金高輪グリーンミュージックフェスティバル実行委員会 高輪地区内での音楽イベントを企画・開催します	平成25年4月～平成26年3月		平日昼間または夜間の会議 (おおむね月1・2回程度) 平日・休日昼間または夜間の活動 (おおむね5回程度)	
4	デジタルアーカイブ実行委員会 高輪地区内の「今」「昔」の写真を収集・デジタル化し、地域の貴重な資産を未来へ残す取組を行います			平日昼間または夜間の会議 (おおむね月1・2回程度)	
5	高輪コミュニティ広場実行委員会 誰もが気軽に訪れ、互いに交流できる「コミュニティ・サロン」を東海大学の学生とともに開設します		平日・休日昼間または夜間の活動 (企画内容による)		

- 留意点** 報酬・交通費・取材費等の支給はありません。
- 申し込み方法** 希望する分科会名・住所・氏名・年齢・性別・職業(学校名)・電話番号・FAX番号・メールアドレスを明記し、郵送またはFAXで下記へ。
※重複して分科会への応募は可能ですが、応募多数の場合は調整させていただきます。
- しめきり** 平成25年3月29日(金) <必着>
- あて先・問い合わせ** 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 〒108-8581 港区高輪1-16-25 ☎5421-7123 FAX 5421-7626

毎週水曜日は午後7時まで受付 ※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係 ☎5421-17612 / 保健福祉係 ☎5421-7085



港区民交通傷害保険に加入しましょう

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、交通事故でけがをしたときに、入院や通院治療日数と通院治療期間に応じて保険金をお支払いする保険制度です。また、自転車を運転中に相手にけがをさせた場合等を対象とした「自転車賠償責任プラン」も併せて募集します。

※自転車賠償責任プランのみに加入することはできません。お申し込みは、平成25年3月29日(金)までです。詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】
高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎5421-7621

品川駅高輪口周辺タバコマナー&クリーンアップキャンペーン

地域の方と事業者、行政が協力して、①品川駅高輪口周辺の清掃美化活動、②みなとタバコロールの啓発活動(啓発品の配布)を行います。

当日直接集合場所へ。参加者には記念品もあります。ぜひ、ご参加ください。

- 日時:平成25年3月21日(木) 午前10時集合(雨天時:3月22日(金)に順延)
- 集合場所:国民生活センター(港区高輪3-13-22)

【問い合わせ】
高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎5421-7621



高輪森の公園プレーパーク(冒険遊び場づくり)を開催します

子どもたちが自らの限界と可能性に挑戦し、やりたいことが実現できるプレーパーク! 少し危なくても、濡れたり汚れたりしても、のびのびと自由に遊べるよう、プレーリーダーのもと、これまでの禁止事項を少なくした新しい遊びの場に来てみませんか?

- 日時 平成25年3月30日(土)・31日(日) いずれも午前10時から午後3時30分まで
- 会場 港区立高輪森の公園(港区高輪3-13-21) ※小雨決行
※当日開催状況については、午前9時30分以降にみなとコールまで(5472-3710)
- 費用 無料(いつ来ても、いつ帰っても自由)

プレーパークでの約束『自分の責任で自由に遊ぶ!!』



港区の取組

港区では平成23年度からプレーパーク(冒険遊び場づくり)事業を、将来的に地域の皆さんによる住民運営をめざして、高輪地区、芝浦港南地区で実施しています。プレーパーク事業では、公園での体験のほかに区民の皆さんの参加による意見交換会などを実施しています。

【問い合わせ】高輪地区総合支所 協働推進課 まちづくり推進担当 ☎5421-7664 FAX 5421-7626

編集だより

●太古の昔より人が住みつき「埋蔵文化財」は数多く残されており、つくつくと歴史の重みを実感させられる高輪地区です。(明石)

●今回はたまたま大学の地域貢献に関する記事が多かったです。地域に大学が4校もあるということは、地域の財産です。これからも大学と地域の交流が盛んになることを願っています。(安藤)

●「人間って万能だ!」等と思いがちではないかもしれませんが、何千年も前から存在する埋蔵文化財の上で、高々八十年位を生きているだけなのですから。(伊藤)

●テンプル大学のみなさんと地元のみなさんとスポーツ、文化活動を通じて更なる交流の発展を期待しています。(河村)

●今回は、江戸表貝師の鈴木さんの柔らかい職人の心に洗われました。(菅野)

●堀江さんのお父様が愛したお部屋は、由緒正しいこれぞ日本の客間といった風情でした。戦前、高松宮邸のまわりには、大きな邸宅が立ち並んでいたそう、時代の変遷を感じました。(滝川)

●昨年は、オリンピックやノーベル賞など、感動と勇気、夢を与えてくれた出来事が数多くありました。今年も、四季折々の情報発信に努めてまいります。(立原)

●ふっくらおいしい大根の味。手間いらずで、作りやすい調理ながら、味わい深い家庭の味が、印象に残りました。ポイントを聞き、ひと手間の大切さを実感しました。(三村)

●3月4日は別れと出会いの季節。この「みなとっぶ」の紙面で、読者の皆さんに、楽しい出会いのきっかけをお届けできればいいなと思っています。(森)

●防災プログラムについて、区と地域大学との連携した取組を知り、頼もしく、そして力強く感じました。(谷知)

●高輪地区に多くの貴重な文化財が残されています。遺跡、遺構、遺物などからうかがえる私たちの祖先の生活の様子に興味があります。(吉田)

●幾層霜流れて九十有余年が過ぎた。堀江先生の二・二八事件の話し、大雪の剣道の学校帰りを想い出した。また、江戸表貝など、古い物は大切にしたい。(渡邊)

- 区民編集メンバー
- 安藤 洋一(チーフ)
- 吉田由紀子(サブチーフ)
- 伊関 則子
- 菅野 真美
- 立原 木太郎
- 森 裕子
- 渡邊 義信
- 谷知 貞江(サブチーフ)
- 明石美穂子
- 河村 保弘
- 滝川まりえ
- 三村 晴子
- 安 勢津子

※この情報は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。